

【都市と美術研究所】2025 年 7 月 1 日（火）研究会 発表要旨

## 旅する暮らし—My Sabbatical Journal によるナラティブと風景

A Life with Travels: Scenes and Narratives from My Sabbatical Journals

金 敬黙（早稲田大学文学学術院教授）

Kim Kyungmook

Professor, Waseda University

報告者は 2024 年 4 月から 2025 年 3 月までオランダのライデンに拠点を構えつつヨーロッパ地域とアジアで二つの共同研究を遂行してきた。その一つが「日韓のパブリック・ディプロマシー—競争から協力へ」であり、もう一つが「分断を跨ぐ—ヨーロッパの紛争地における地域社会の取り組みから」であった。前者は、東アジア研究に含まれる日本学、中国学、韓国学などがパブリック・ディプロマシーの推進の結果、むしろ国家学の性質が強まり相互にけん制したり排他的な構図を生み出してしまう逆説に関する国際関係論に基づくものであり、後者は平和研究の視座から市民社会や地域コミュニティが分断構図をどのように乗り越えようとしているのかを調べるアクション・リサーチである。

この二つのプロジェクトを進めるために、報告者は My Sabbatical Journal を特別研究期間中に 71 本仕上げ、個人の記録、社会的発信などを行ってきた。調査の一環として訪れたヨーロッパ各地の記録や写真を活用しつつ、ヨーロッパライフから見てきたアジア人の暮らしと旅のナラティブを紹介する。

金 敬黙 キムギョンムク

早稲田大学文学学術院教授、平和研究、グローバル市民社会論、NGO 研究などをテーマに研究と実践に取り組んでいる。Social Gallery Kyeum というカルチュラルコレクティブを共同主宰。